

序

特別天然記念物カモシカの日本各地の地域個体群単位での保存を図るため、文化庁、環境庁、林野庁の3庁合意に基づき、昭和56年以来全国に13カ所のカモシカ保護地域の設定がなされてきました。昭和61年3月に設定された伊吹比良山地カモシカ保護地域は、78,388haの面積をもち、東は両白山地から西は丹波高地へと東西に細長く、福井県、岐阜県、滋賀県、京都府の4府県の山岳地域に広がっています。

カモシカの地域個体群の安定的な保護及び管理のためには、その分布、生息密度、生息個体数、年齢構成などの生息状況と、生息地域の植生、農林業土地利用形態などの生息環境を総合的に把握する必要があります。

この目的を達成するため、伊吹比良山地カモシカ保護地域におきましては、既に昭和61・62年度に、第1回目のカモシカ特別調査を4府県教育委員会が合同で実施しました。その後、5カ年を経過し、今回再び文化庁の国庫補助を得、「伊吹比良山地カモシカ保護地域管理指導委員会」からの指導のもとに、財団法人自然環境研究センターに委託して、平成4・5年の2カ年事業としてカモシカ特別調査を実施しました。

本書は、この第2回目の特別調査の成果を中心に、第1回特別調査の知見とそれ以後平成3年まで続けられた通常調査の結果をも総括したものであり、今後のカモシカの保護と管理の対策を講ずるにあたり、大いに役立つものと考えます。

なお、このたびの調査にあたり、現地調査の便宜や情報提供にご協力をいただきました各市町村教育委員会並びに森林組合、その他関係諸機関、地域住民の皆さまに対し、厚くお礼申し上げます。

平成6年3月

京都府教育委員会

福井県教育委員会

岐阜県教育委員会

滋賀県教育委員会